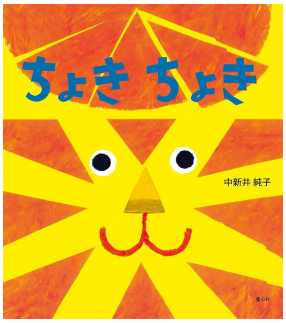
子ども読書の日おすすめの本

2024年４月和光市図書館

4月23日は「子ども読書の日」です。和光市図書館の職員が選んだ本を紹介します。
幼児むけ、小学1，2年生むけ、3，4年生むけ、5，6年生むけです。ぜひ読んでみてください。
読みたい本が貸出中のときは予約できます。くわしくは、図書館のカウンターの人に聞いてください。

幼児むけ



『ちょきちょき』

中新井 純子／さく　童心社　2023年発行　分類 E ｱｶ

あおいろの　うずまきを　ちょっきんと　きったら　かたつむりに　なったよ。　ちゃいろの　しかくを　ちょきん　ちょきんと　きったら　いぬになったよ。　さあ　つぎは　おれんじいろの　おおきな　まるを　じょきじょき　じょきと　たくさん　きったら　なにが　できあがる　でしょうか？

おやこで　あそびたくなる　そうぞうりょくが　ふくらむ　えほんです。

『くまとりすのおやつ』

きしだ えりこ／ぶん　ほりうち せいいち・ほりうち もみこ／え　福音館書店
2008年発行　分類 E ｱｶ

きいちごを　みつけた　くまと　りすは　きいちごを　ぽちんぽちんと　つみました。　りすは　ちいさな　りゅっくさっくに　ひとつだけ、　くまは　おおきな　かごに　たくさん　つみました。　ふたりは　いっしょに　きいちごを　たべて　おなかいっぱい。　それから　ふたりは　おひるねを　しました。　あしたも　きっと　ふたりは　きいちごつみに　いくでしょう。

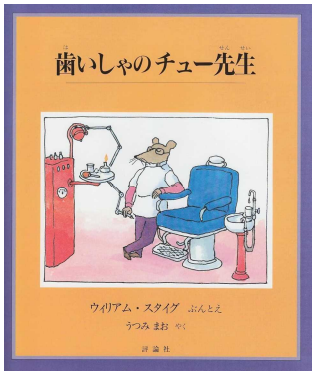
しのような　ここちよい　リズムを　かんじられる　えほんです。

『まっしろドードー』

ゆみカタリーナ／ぶん・え　文芸社　2023年発行　分類 E ｱｶ

よるです。　アンちゃんが　ねむったあと　まだ　ねむくならない　まっしろドードーは　ベッドから　ぬけだしました。ドードーが　クレヨンで　あそぶと　クレヨンドードーが。　はちみつを　たべると　はちみつドードーが　あらわれて　ドードーが　どんどん　ふえていきます。さて　さいごは　どんな　けつまつに　なったでしょうか？　ドードーの　かわいらしさに　こころあたたまる　おはなしです。

小学1，2年生むけ

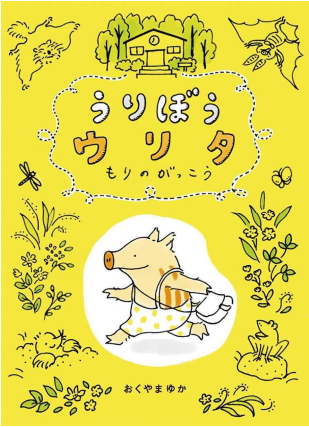


『歯いしゃのチュー先生』

ウィリアム　スタイグ／作・絵　うつみ まお／訳　評論社　1991年発行
分類 E

ネズミの チュー先生は　うでききの　歯いしゃさんです。でも、ネズミですから、きけんな　どうぶつの　ちりょうは　しません。かんばんにも、そう　かいてあります。ところが　あるひ、りっぱなふくそうの　キツネが、いたむ歯を　おさえて　なきながら　チュー先生のところに　やってきました。きけんな　どうぶつの　ちりょうは　しないことにしていたチュー先生でしたが、キツネを　みて　かわいそうになり・・・。

ぶじに　キツネの　歯のちりょうは　おわるのでしょうか？

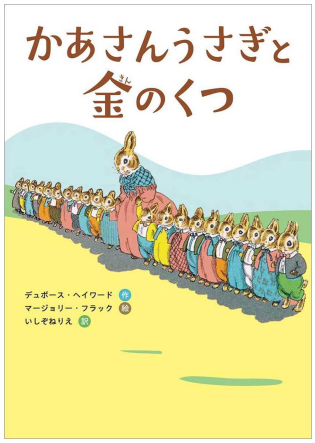


『うりぼうウリタ　もりのがっこう』

おくやま ゆか／作　偕成社　2020年発行　分類 913

うりぼうの　ウリタは、くいしんぼうで　あわてんぼの　いのししの子どもです。ウリタは、はるから　もりの　がっこうに　かよっています。もりの　がっこうでは、あたらしい　ともだちが　たくさんできました。ともだちと　べんきょうしたり　あそんだり、あたらしいことも　たくさん　おぼえて、まいにち　がっこうで　たのしく　すごしています。

そんなウリタの　ゆかいで　たのしい　おはなしが　４つ のっています。



『かあさんうさぎと金のくつ』

デュボース　ヘイワード／作　いしぞね りえ／訳
マージョリー　フラック／絵　徳間書店　2022年発行　分類 933ヘ

みなさんは　「イースター」を　しっていますか。「イースター」とは、キリストきょうの　はるの　おまつりです。そして、イースターうさぎは、きれいな　いろや　もようの　ついた　たまご「イースターエッグ」を　はこんでくれる うさぎです。かあさんうさぎの　フワフワは、ちいさいころから、イースターうさぎに　なりたいと　おもっていました。あるひ、あたらしい　イースターうさぎが　えらばれると　きいて、フワフワは、こどもたちを　つれて　おしろに　けんぶつに　いくことにしました。

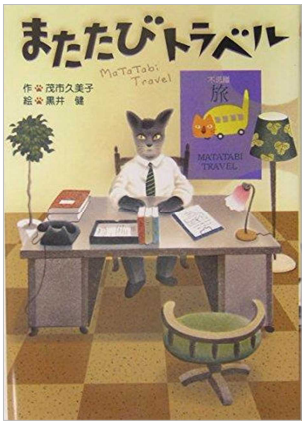
ドキドキ　ワクワクする　おはなしです。ぜひ　よんでみてくださいね。

小学3，4年生むけ

『ぼくは本のお医者さん』

深山 さくら／文　佼成出版社　2023年発行　分類 022

山形県で製本の会社を経営している齋藤英世さんは、こわれた本を修理するブックスドクターとして活動しています。いろんな時代にいろんな方法で作られた本があるので、本を直すことには技術と知識が必要です。一度はくじけてしまい、修理をやめてしまった齋藤さんですが、一冊の絵本との出会いで、修理のヒントを知り、ふたたび本の修理をスタートしました。この本には、齋藤さんの歩んできた道や、本の修理に対する思いが書かれています。また、本の部位の名前や修理の方法、使用する道具も紹介されています。



『またたびトラベル』

茂市 久美子／作　黒井 健／絵　学研プラス　2005年発行　分類 913

細い路地のつきあたりにあるおんぼろな木造のアパートの一階に「またたびトラベル」という小さな旅行会社があります。自分の好きなところには行けませんし、有名な観光地にも行きません。またたびトラベルで相談すると、いますぐ出発するように言われたり、代金を払うかわりに「のらネコに、ひと月のあいだ、ごはんをやってください」と言われたりする不思議な旅行会社ですが、お客さんはみんな満足するようです。いったいどんな場所につれて行ってもらえるのでしょうか？　またたびトラベルに興味を持ったら、ぜひ読んでみてください。

『ロサリンドの庭』

エルサ　ベスコフ／作　菱木 晃子／訳　植垣 歩子／絵

あすなろ書房　2021年発行　分類 949ﾍﾞ

病気がちなエリックは、お母さんと二人で屋根裏部屋に住んでいました。エリックがいつものようにひとりぼっちで寝ながら、花模様の壁紙を見ていると不思議なことがおこります。壁紙に割れ目ができて、小さなドアになり、ワンピースを着たロサリンドがあらわれました。ロサリンドは、壁紙の花に水をやり、花をコップにさしました。ロサリンドといるとたのしい気持ちになり、エリックはどんどん元気になっていきます。ロサリンドとずっと一緒に過ごしたかったエリックですが、ある時エリックの生活にも変化が訪れます。

色とりどりの花や動物たちがかかれた表紙や、さし絵も楽しんでください。

小学5，6年生むけ

『捨てられる魚たち ～「未利用魚」から生まれた奇跡の灰干し弁当ものがたり～』

椰木 春幸／著　講談社　2024年発行　分類 667

「未利用魚」という言葉を聞いたことがありますか？実は、漁師さんがとった魚の内の約30%は、市場に出回ることなくそのまま捨てられています。捨てられる魚のうち「人間がたべられるものなのに、何らかの理由で市場に出回らない魚」を「未利用魚」といいます。

料理人である著者の椰木さんは、「いのち」を料理する自分が目をそむけてはいけないと考え、この「未利用魚」を何とかしようと立ち上がりました。この本では「未利用魚」の現状や、「未利用魚」を使った弁当の開発話のほか、知っていてほしい和食文化についても触れられています。

国連が2015年にかかげた「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」の１７の目標にも、【つくる責任・つかう責任】【海の豊かさを守ろう】という目標がふくまれています。みんなでフードロス問題について考えましょう。

『忘れもの遊園地』

久米 絵美里／著　かわい みな／絵　アリス館　2022年発行　分類 913

主人公のトラタは忘れものの常習犯。この日も提出しないといけないプリントを忘れて困っていると、見知らぬおじいさんから声をかけられます。「忘れもの遊園地」というウェブサイトに忘れたいことを投稿すれば、自分の忘れものが手に入るというのです。トラタが、幼馴染のレミを泣かせてしまったことを投稿したとたん、その記憶はなくなってしまいました。しかし現実に起きたことは、もし自分が忘れたとしてもなかったことにはできません。覚えていたら生まれなかった食い違いが、どんどん大きくなり・・・。

忘れた自分自身の記憶を乗り越えるための、忘れもの探しが始まります。

『クローディアの秘密』

E.L.カニグズバーグ／作　松永 ふみ子／訳　岩波書店　2000年発行
分類 933ｶ

ある日クローディアは弟のジェイミーと家出することにしました。家出先は、世界最大級の広さをもつニューヨークのメトロポリタン美術館です。

２人は、昼間はお客さんにまぎれ、夜は見回りから逃れながら、荷物を石棺の中に隠し、噴水で水浴びし、展示品のベッドで眠って美術館生活を送ります。

ある日２人は、最近美術館が手に入れた、有名なミケランジェロが作ったと噂される「天使の像」に出合います。すっかりその像を気に入ったクローディアはその謎を解こうと決心します。クローディアは、はたして真実にたどり着けるのでしょうか？

「あたしはもとのまんまで帰るために家出したんじゃないの」と言うクローディア。その意味が最後にわかります。ぜひ読んでみてください。